

海面漁業の概要

1 漁業経営体数

平成30年11月1日現在における本市の海面漁業の漁業経営体数は553経営体で、前回（平成25年調査。以下同じ。）に比べ72経営体（11.5%）の減となっている。

漁業経営数の推移

（単位：経営体、%）

	昭和58年	昭和63年	平成5年	平成10年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年
経営体数	996	854	761	644	578	701	625	553
前年対比	3.0	△14.3	△10.9	△15.4	△10.2	21.3	△10.8	△11.5

2 漁業経営体の基本構成

漁業経営体を構成別にみると、個人が547経営体となり、全体の98.9%を占めており、そのうち、専業の割合は35.1%、前回に比べ16.9%の増となっている。

また、使用漁船の種類別にみると、船外機漁船が520隻となり、全体の71.1%を占めており、前回に比べ3.4%の増となっている。

漁業経営体の構成及び使用漁船の種類

（単位：経営体、隻、%）

区 分		平成25年	平成30年		前年対比	
		経営体数	経営体数	構成比		
漁業経営体	総 数	625	553	100.0	△11.5	
	個 人	小 計	620	547	98.9	△11.8
		専 業	166	194	35.1	16.9
		兼 業	454	353	63.8	△22.2
	個人以外	5	6	1.1	20.0	
漁船隻数	区 分	隻数	隻数	構成比	前年対比	
	総 数	743	731	100.0	△1.6	
	無動力船	6	6	0.8	0.0	
	船外機漁船	503	520	71.1	3.4	
	動力漁船	234	205	28.0	△12.4	

3 漁業種類別経営体数

漁業種類別に経営体をみると、「採貝・採藻」（構成比 41.0%）が最も多く、次いで「その他の漁業」（27.3%）の順で、この2種で全体の約68%を占めている。

主とする漁業種類別経営体数

(単位：経営体、%)

漁業種類	平成25年	平成30年		前年対比
	経営体数	経営体数	構成比	
底びき網	1	1	0.2	0.0
船びき網	57	47	8.5	△17.5
その他の刺網	26	13	2.4	△50.0
小型定置網	48	27	4.9	△43.8
その他の網漁業	13	28	5.1	115.4
その他のはえ縄	7	15	2.7	114.3
沿岸かつお一本釣	-	1	0.2	-
ひき縄釣	10	2	0.4	△80.0
その他の釣	6	2	0.4	△66.7
採貝・採藻	268	227	41.0	△15.3
その他の漁業	149	151	27.3	△1.3
かき類養殖	13	13	2.4	0.0
その他の貝類養殖	-	1	0.2	-
のり類養殖	27	25	4.5	△7.4